

# 福山市地域包括支援センター引野通信

## お知らせ

### ◎2020年度 開催行事について

- 1 健康づくり、体力維持に関する内容
- 2 認知症カフェ
- 3 地域サロンに出張講座(無料)☺  
例えば…歌や体操、ゲームで交流したい  
認知症について知りたい、認知症サポーターになりたい  
アドバンス・ケア・プランニングって何だろう  
介護保険を利用する方法 などなど  
※可能な範囲になりますが、ご要望に応じた講座を準備します。
- 4 ケアマネサロン、事例検討会、専門職対象研修、地域ケア会議 など



上記予定内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として活動を自粛しております。行事再開のお問い合わせは電話で受け付けております。日程は地域包括支援センター引野 ホームページにも掲載しておりますので、ご確認ください。



## 2020年夏号

編集・発行  
福山市地域包括支援センター引野  
2020年(令和2年)5月末発行

## みんなで「共生社会」をつくるためにシリーズ⑤

性別や年齢、障がいの有無に関わらず誰もがお互いを理解し支え合える社会を「共生社会」といいます。人権や尊厳を大切に相互に敬いの気持ちを持って生活出来る…そんな毎日が実現したら本当に素晴らしいと思いませんか？このシリーズでは様々な人が分け隔てなく暮らしていける社会になるよう、みんなで一緒に考えていけたらと思っています。(今号では「**高齢者の孤独死**」について記事にしてみました。)

### 【増加する「孤立」】

我が国の65歳以上の高齢者は2019年の時点で3,515万人。これは、過去最高の数字で、何と日本の全人口の28%弱が高齢者ということになります。加えて独居高齢者の数も年々増加しており、2035年には841万人の方が独居となると予想されています。「独居」になると地域社会との繋がりが希薄になる傾向が見られ、「**孤独死**」に至ってしまうこともあります。

### 【地域の人たちとの交流はありますか？】

「向こう三軒両隣」…今となっては懐かしいこの言葉。昨今、地域のつながりは、どんどん希薄化し、まさに「隣の人は何する人ぞ」といった状況です。おひとりで生活されていると、もしかしたら「自分の身に何かあった時、誰が気付いてくれるのだろうか？」と不安になる方もいらっしゃるかも知れません。「孤独死」という最悪の事態を防ぐために、私たちに何か出来ることは無いのでしょうか？過去の内閣府の調査によると、ひとり暮らしをしている高齢者の会話の頻度は電話やメールを含めても「2～3日に1回」が最も多いそうです。次いで「1週間に1回未満」となっており、他者との会話がほとんどない方がいかに多いかが分かります。

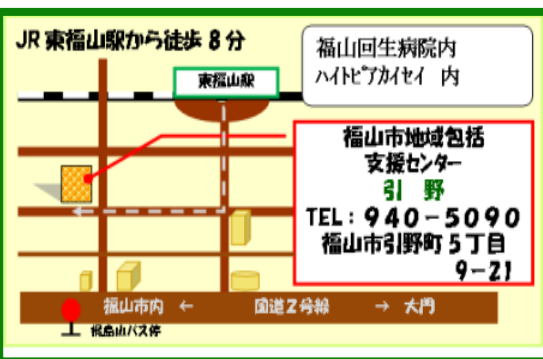
### 【どんな支え合いが出来るでしょうか？】

いま、様々な地域でサロンやカフェといった「居場所づくり」が活発化しています。定期的集まりを持ち、参加して頂くことで参加者の変化に地域で気づき、支援する…。自分が支援者であったり、或いは支援される側になったとしても抵抗感なく過ごせる地域なら、最悪の事態を減らす事が出来るかも知れません。場合によっては介護保険などの公的サービスの利用や、地域の民生委員やボランティアなどの地域資源に働きかけることも必要です。或いは必要時には民間企業による有償の見守りサービスも活用できます。場合によっては地域に足りない新たなサービスやボランティアを作っていくことが出来るかも知れません。わたしたちも「地域の支え合い」の一翼を担っていきたいと思いますので「心配だな…」「不安だな…」「こんな支援があったらいいな…」そんな時には、是非、包括引野にご相談頂ければと思います(^ー^)

今までは介護支援専門員として勤めていましたが、四月から社会福祉士として勤務することになりました。今後、地域活動にも参加いたしますので皆様とお会いできる日を楽しみにしております。



こんにちは！  
はらだ しんご  
原田 慎吾  
です。



\* ホームページも見て下さいね  
『[houkatsuhikino.rgr.jp](http://houkatsuhikino.rgr.jp)』  
『包括引野』で検索して下さい。